

漢和辞典の使い方

>>> TOSS 福井 村上睦

概要

中 1 光村『漢字の組み立てと部首』のページで漢和辞典の使い方を指導した。「読めない漢字」を調べさせながら使い方を教えることで意欲的に取り組ませることができた。最後に、調べ方をチャートで示した。(TOSS 福井推薦)

漢字なぞなぞで導入

教科書 P 28。読みます。

次のなぞなぞの答えに当てはまる漢字はなんだろう。
山にある石は何か。
人が木のそばですることは何か。

問題文を読ませ、答えを教科書に書かせる。

指名し、答えを確認する。(岩、 休)

次のなぞなぞも同様に進める。

右のなぞなぞは、漢字が部分に分けられることを利用して作られている。同じようにして、次の漢字で問題を作ってみよう。
・粉
・鳴

どちらか 1 つを選んで、その漢字が答えになる問題をノートに書きなさい。

できた生徒を指名し、問題を読ませる。

多少おかしい問題でもこだわらず、テンポよく数名を指名する。

(「米を小さく分けたものは何か。」など)

このような問題が作れるのは、漢字がいくつかの部分に分けられるからです。

教科書の説明を読ませる。

漢字は、二つの部分に分けられるものが多く、・・・

部分の呼び方を覚える

教科書 P 28 ~ P 29 に、「へん」「つくり」など漢字の部分の呼び方が 7 種類載っています。1 分間、時間をあげますから、呼び方を覚えなさい。

生徒が覚えている間に、7 種類の図を板書する。

(大きめの を書き、たとえば「へん」なら の左側を黄色チョークで塗る。)

先生が指した部分の呼び方を言いなさい。

フラッシュカードでやるように、テンポよく黒板の図を指し、「へん!」「かんむり!」と言わせていく。

だいたい覚えたら次へ進む。

漢和辞典の使い方

なぜこんな呼び方を覚えてもらうかという、漢和辞典を調べるときに役に立つからです。

図書室から借りてきた漢和辞典を配る。

実際に調べながら、使い方を覚えます。

「鳴」と板書。

さっき、なぜでやった漢字です。何と読みますか？

「なく」とか「メイ」と読みます。読み方が分かる場合は、「音訓索引」で調べます。音訓索引のページを探しなさい。

見つからない生徒の所へ行って開いてやる。

見つかった人？ 何ページですか？

ページを確認して次へ進む。

読み方が分からない漢字の意味を調べたいときはどうするか？

「拵える」と板書。

読める人？ いませんね。読めないけど、部首は分かりますね。部首は何ですか？

・手へん

部首が分かるときは、「部首索引」を使います。部首索引は、表紙をめくった所にあります。(辞書によって違う)

「手へん」は何ページから始まっていますか？ そのページを開きなさい。

手へんの字が並んでいます。字の上に「手0」のように書いてありますね。これは、手へん以外の部分は何画あるかという意味です。

「拵」という字は、手へん以外の部分は何画ですか？

「手6」のページを探させる。

探せない子には、そばへ行って教えてやる。

読み方を確認して次へ進む。

もし、部首も分からなかったらどうするか？ こんな字を調べてみます。

「粃」と板書。

読める人？ いませんね。部首は？ 「米」か「干」が分かりません。読み方も部首も分からないときは、「総画索引」を使います。

全部で何画ですか？

黒板に書きながら一緒に数える。

9画です。総画索引の9画の所を探します。総画索引は音訓索引の次にあります。(辞書によって違う)

9画の漢字がずらっと並んでいます。その中から探します。

かなり時間がかかる。ひたすら探す。

見つかったらそのページを開いて読み方を確認させる。読み方を知ると生徒は一様に驚く。

このように、漢和辞典を調べる方法には「音訓索引」「部首索引」「総画索引」の3種類があります。一番簡単なのは「音訓索引」、次に簡単なのは「部首索引」、一番時間がかかるのが「総画索引」です。

調べ方のまとめ

調べ方をノートにまとめます。

読み方 分かる 【音訓さくいん】

分からない

部 首 分かる 【部首さくいん】

分からない

【総画さくいん】

残りの時間、辞書の使い方と部首の種類を復習するプリントをやって終わる。

プリントには約50種の部首が出ている。

そこから、次のような雑談をすると生徒は興味深そうに聞いていた。

部首の種類は全部で214種類ある。

日本で使われる漢字は約3000字。(新聞で使われる)

中国には約5万字の漢字がある。

300年ほど前に『康熙字典』という字典が作られ、その部首の分類や字体が現在の漢字辞典の元になっている。